



佐々木 大三郎 議員



一問一答方式

その他の質問

- 電子決裁システムの導入について

山積する諸課題の解決策は

市長 職員の意識改革を図る

問 昨年の市長選で公約した「市政刷新」の成果は。

答(市長) 市政推進と財政健全化に向けた組織体制の見直しと、公共施設の総合管理計画作成を進めている。

問 これまでの建物政策は、新築と整備を中心に注力し、活用や統廃合は後追い状態にあった。その結果、建物の

維持管理費は増大し財政を圧迫する一因になっている。改善策は。

答(市長) 地域住民に建物の有効活用策を示し、理解と協力を得ながら統廃合等により後世に負の遺産として残さないようにしたい。

問 公共交通の空白地域に住んでいる高齢者や障がい者は、買い物や通院などの日常生活に不自由を強いられている。早急に改善策を講

じるべきでは。

答(市長) 地域事情や地形、財政状況を考慮し、地域の方々と団体とも協力・相談しながら新たな地域交通システム導入を検討したい。

「遠野ふるさと公社」を取り巻く環境

市長 ふるさと商社への事業継承も考える

問 以前の「遠野ふるさと公社」の収支状況は、8期連続で赤字に陥っていた。この改善策として、同公社を「遠野ふるさと商社」と「遠野ふるさと公社」に2分割し、トップ交代という大規模改革が行われた。その結果、組織のガバナンスは機能し、指揮命令系統も整理され、従業員のモチベーション向上により事業業績は改善傾向にある。この際、当初計画通



いつも盛況の風の丘「フードホール」

り、来年7月に「遠野ふるさと公社」を「遠野ふるさと商社」へ事業継承し1社体制にすべきではないか。

答(市長) 計画通り事業継承すべきと考える。その際、「遠野ふるさと公社」の借入金の扱いをどうするか検討を要する。特に「水光園」の収支状況は思わしくないの

で、存続に向けた新たな発想と改善策について関係者と協議しながら進める。

市政調査会

研修日 令和4年11月11日
研修場所 盛岡ブランドホテル
参加議員 16名

◆岩手県市議会議長会主催の議員研修会
コロナの影響で中止していた同研修会が3年振りに開催された。
第1部はNPO法人インクルいわて理事長の山屋理恵氏による講演「子育て支援と地域づくり」。

山屋氏が震災を通じて感じた、ひとり親への支援の必要性から行った、親子の居場所づくり、就労支援などの取り組みが紹介されるとともに、子ども

の貧困など目を向けるべき現状について再認識させられる内容であった。
第2部は防災システム研究所所長の山村武彦氏による講演「アフターコロナの防災・危機管理」個人との備えと組織の対応」。

山村氏からは、防災減災の目標を定めることや、避難所の収容人数、避難者数などの情報公開、互近助(隣人の助け合い)の必要性など、次の災害が今夜起きてても対応できる準備についての内容で、大変有意義な研修であった。

学んで
行動する
議会へ



政務活動費を公表します

令和4年度政務活動費執行状況(令和4年4月~令和4年10月)

議員の調査研究活動のために交付される「政務活動費」を下記のとおり公表します。交付額は1人につき35,000円(月額5,000円)で、執行率は63%でした。

議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	事務所費	支出合計	政務活動費分執行額	執行率
1 小松正真	30,000							0	0	0%
2 佐々木恵美子	35,000	11,550						11,550	11,550	33%
3 菊池浩士	35,000				23,350	1,413		24,763	24,763	71%
4 佐々木敦緒	35,000					25,676		25,676	25,676	73%
5 佐々木僚平	35,000				7,574	20,240		27,814	27,814	79%
6 小林立栄	35,000	30,100			5,247	20,020		55,367	35,000	100%
7 菊池美也	35,000				43,214	7,750		50,964	35,000	100%
8 萩野幸弘	35,000			3,180		33,300		36,480	35,000	100%
9 瀧本孝一	35,000			66,000	40,233			106,233	35,000	100%
10 多田勉	35,000							0	0	0%
11 菊池由紀夫	35,000			67,881				67,881	35,000	100%
12 菊池巳喜男	35,000				13,455	25,582		39,037	35,000	100%
13 照井文雄	35,000	2,000			20,957			22,957	22,957	66%
14 荒川栄悦	35,000							0	0	0%
15 安部重幸	35,000							0	0	0%
16 新田勝見	35,000							0	0	0%
17 佐々木大三郎	35,000		2,262		36,819		1,254	39,081	35,000	100%
18 浅沼幸雄	35,000					35,767		35,767	35,000	100%
合計	625,000	43,650	2,262	137,061	190,849	169,748	1,254	543,570	392,760	63%

「政務活動費」は、議員の調査研究、研修や市政の課題及び市民の意思を把握し、市政を反映させる活動に充てられますが、交付額を超過して支出した場合は自己負担となります。なお、残額232,240円については、遠野市に返還しました。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。



新体制の市議会議員のみなさんに期待しております。(上郷町、40代)

市議選でいままで活躍していただいた議員さんに労をねぎらい、また今回の選挙で当選された議員さんに期待!!(小友町、60代)

議員さんのまちづくり、市をよくするためにがんばってる様子が見えます。一つでも前へ進んでほしいです。(遠野町、70代)

遠野市の事が分かり、遠野市に住んで良かったと思います。寒さはきびしいけれど、人の心温かい所です。(遠野町、70代)

